ミツカワ株式会社

ニットの可能性を徹底追求
世界に羽ばたくグローバルカンパニー

私が行ってきました！

Report
福井県立大学
佐野みずきさん

Q1 業務内容を教えてください。具体的にどのような製品を作っているのでしょうか

衣料用や資材用、あるいは医療素材としてのニット生地を開発し製造、販売しています。衣料用では吸汗、速乾の機能を持つエアブリッジという生地を開発し、国内はもとより、海外にも幅広く展開しています。医療用にもニットの特性を生かした素材を提供しており、さまざまな分野で貢献できるようニットの可能性を追求しています。ニットで世界をリードするグローバルカンパニーを目指しています。

Q2 繊維王国ということで福井県には繊維会社が数多くありますが、御社の特徴、強みは何でしょうか

社風として、いろいろなことに挑戦する気概にあふれ、社内が一丸となって力を十分発揮してくれている。その基盤にあるのは価値観の共有、統一です。会社にとってプラスかマイナスかの判断基準はみんな同じでなければなりません。そのため社長が自ら社員全員と定期的に個人面談し、意思の疎通を図っています。

創業40年で培った人材と技術の積み重ねで、さらに新しい物づくりに向けた取り組みが可能です。外部の研究機関や企業などとのコラボレーションにより、さらにその可能性は広がるでしょう。繊維会社のほとんどが委託製造でしたが、当社は10年ほど前に自販に舵を切り「委託からの脱却」を図りました。こうした業態の改革が最大の強みになっています。

Q3 ニットの可能性を追求される中で、医療用も含めて全く想像できない分野へ積極的に進出していますね

コラボレーションの産物とも言えるので

出荷や在庫の管理業務に携わっています。毎日毎日、大量の出荷があるので気を抜くことが出来ません。緊張の連続ですが、私なりに管理システムの効率化を提案し、受け入れてもらえたことで、業務がスムーズに運ぶようになりやりがいにもつながりました。（総務部　上野如子さん）

社内は非常に風通しが良く、つらい時や困っている時、すぐに助けてくれる上司や先輩がいます。それに、いろんなことにチャレンジさせてくれる社風もありがたいです。糸の選定や編みなど自分のアイデアを盛り込んで製品が完成したときにやりがいを感じます。（開発課　森雅昭さん）

Q4 社員のみなさん。仕事の取組みや、やりがいについて教えてください

繊維業界はほとんどが分業制ですが、うちでは編みだけでなく最終製品まで考えて仕事をしなければなりません。糸や生地、染めまで考えながら作り上げていきます。イメージ通りのものが仕上がり、お客様に満足してもらえたときが最高です。（開発課　田中宏志さん）

わが社の★Policy

ミツカワ株式会社
代表取締役社長　松本　茂登さん

当社は創業以来、一貫してニットの可能性を追求し、新商品の開発に努めています。ニットの歴史はまだ70年ほどで、開発の余地はたくさんあります。これからも、いろいろなことに挑戦する気概を持ち続けながら研究、開発に取り組んでいきます。そこには、私たちと共同で知恵を絞っていただける研究機関や企業、個人の方もおられました。今後も、大きく門戸を開いて、さまざまな人たちとのコラボレーションにより新たな商品を創り出し、そこから利益を生み、ひいては社会に貢献できる企業を目指します。製造業の本質は常に新しい物づくりにあります。私たちはその歩みを強め、国内はもとより世界に発信し続けていきます。

取材★Report

ミツカワ株式会社は、ニットの可能性をとことん追求し、可能性がある限り挑戦し続ける強いモチベーションを持った企業だと感じました。繊維業界は委託製造されていることがほとんどの中、ミツカワ株式会社は「委託からの脱却」により新たな可能性を生み出し、それに伴い一人一人が責任を持ち、やりがいを感じながら仕事をされているのだと思いました。また、従業員全員が「何が会社にとって大切か」という本質を見据えて判断、行動する価値観を共通意識として持つことで、新たな可能性に挑戦し続けることができているのだと思いました。

ミツカワ株式会社

http://mitsukawa.com/

本社 越前市五分市町18-8
設立 1973年4月
代表者 代表取締役社長　松本茂登
事業内容 ニットテキスタイルの製造販売
資 本 金：3,000万円
従 業 員：44名
☎0778-27-1400（代）

ココ！
砂漠の砂が風に飛ばされるのを防ぎ、緑化を促す実験は中国国内10カ所、延べ10ヘクタールで行われました。サンドソーセージ工法によるもので、黄砂を防ぐ効果もあるそうです。粉じんで困っていた南アフリカの金鉱山跡地でも同じ工法による緑化事業が大きな成果を収めました。

ココ！
ロールプランターは、ソーセージの製造方法をヒントに開発されたといいます。チューブ状にした丸編みニットの中に培養土を入れたプランターを敷き詰めることでどこでも緑化が可能になります。

これもニットの力

ミツカワの
ココが★すごい！